

第8回

公害資料館連携

フォーラム

in 長崎

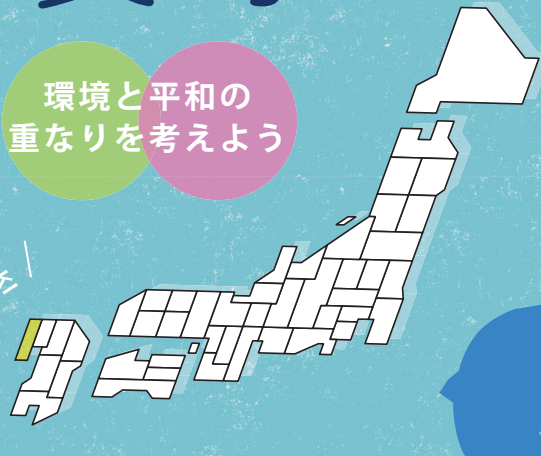
わいわい広げよう！公害資料館の「わ」



被爆地としての長崎の被爆体験の継承や平和教育の蓄積、および公害の体験を共有し、公害・環境・平和の重なりをお互いに学び、これからの公害教育と資料館の可能性についてともに議論を深めませんか。

環境と平和の重なりを考えよう

NAGASAKI



2021

12/11-12

場所

長崎大学 文教キャンパス

長崎県長崎市文教町1-14



現地会場からオンライン配信も行います。
新型コロナウイルスの感染状況によって
完全オンラインになる可能性もあります。

【 参加費 】

●一般：5,000円 ●会員：4,000円 ●学生：1,000円

※現地・オンライン参加にかかわらず、事前に資料集を送付します。

【 スケジュール 】

12/10日
(金)



15:50~17:30
長崎原爆資料館
国立長崎原爆死没者
追悼平和祈念館
オンラインツアー

12/11日
(土)



9:00~12:00
現地見学 定員30人



13:30~18:00
基調講演 (13:30~15:30)
分科会 ①② (16:00~18:00)

12/12日
(日)



9:30~15:00
分科会 ③④ (9:30~11:30)
全体会 (13:00~15:00)

基調講演

記憶を伝える場としてのミュージアム

—国際的な潮流を踏まえて—



くりはら ゆうじ
栗原祐司さん

profile

京都国立博物館副館長。1989年上智大学法学部卒業、同年文部省(現文部科学省)入省。ニューヨーク日本人学校国際交流ディレクター、文部科学省社会教育課企画官、文化庁美術学芸課長、東京国立博物館総務部長、国立文化財機構事務局局長等勤務を経て、2016年10月より現職。日本博物館協会理事、ICOM(国際博物館会議)日本委員会副委員長、ICOM-DRMC理事、日本展示学会副会長、全日本博物館学会役員、日本ミュージアム・マネジメント学会理事、國學院大學大学院・国際基督教大学非常勤講師、観光庁MICEアンバサダー等。専門分野は博物館行政、ミュージアム・マネージメント。

主催：公害資料館ネットワーク、第8回公害資料館連携フォーラムin長崎実行委員会

共催：長崎大学環境科学部、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)、一般社団法人日本環境教育学会、公益社団法人日本環境教育フォーラム

後援：環境省、長崎県、長崎市、五島市、ESD活動支援センター、九州地方ESD活動支援センター、全日本博物館学会、日本展示学会、日本アーカイブズ学会、

長崎新聞社、西日本新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、九州朝日放送

協力：長崎原爆資料館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、九州地方環境パートナーシップオフィス(EPO九州)、

長崎の近現代資料の保存・公開をもとめる会